



アルムの丘から

第 46 号

発行日 令和6年 2月 5日 編集・発行 グリーンアルム広報委員会

郵便番号:382-0034 住所:長野県須坂市大字仁礼7番地10 電話番号:代表026-215-2662

皆様の「憩いのたまり場」を

開設します



理事長 更級 尚

日頃はグリーンアルム福祉会の社会福祉事業に多大なご支援を頂き厚く御礼申し上げます。

皆様にとって辰年に相応しい健康で飛躍の一年になりますようにお祈り申し上げます。

私たちグリーンアルム福祉会は特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、グループホーム（認知症対応）、ケアハウス（軽費老人ホーム）の入所系事業をはじめ、在宅介護支援センター、デイサービス、デイケア、訪問リハビリ、訪問看護、訪問介護、診療所（クリニック・レイ）などの老人福祉事業を全般にわたり同一の施設内で行っている複合施設です。「地域の皆様が健康で充実した安らかな高齢期を過ごしていただく」ことを基本理念として、保健、福祉、医療の連携のもとにさまざまな一体型サービスの提供に努めています。

さて、今年3月1日に小規模多機能型居宅介護事業を須坂市塩野地区にある特別養護老人ホーム須坂荘内で開始します。

この事業は、施設への「通い」を中心に、短期間の「宿泊」や「自宅」への

「訪問」を組み合わせ、生活支援や機能訓練などのサービスを提供いたします。これまで「通い」をはじめそれぞれのサービスをご利用いただく場合、別々の契約が必要でしたが本事業はひとつの契約で全てをご利用いただけますので大変便利になっていきます。地域の皆様が気軽に越え頂きたい心穏やかに安心して過ごすことが出来る「憩いのたまり場」としてご利用頂ける施設です。

新規事業の開始により老人福祉事業の総合施設として、介護が必要な全ての皆様の安全、安心な生活のお手伝いをさせて頂くことが出来るようになります。どうぞお気軽にご相談ください。さいますようお願い申し上げます。

なお、本事業の開設に併せ須坂荘の床暖房や空調設備を新しくするなどの大規模な改修工事を行い、ご利用者様がこれまで以上に快適な生活を送って頂けるようになりました。ぜひ施設の見学にお越しただければ大変うれしく思います。

ご利用者様のこれまでの人生に敬意を表し、お一人おひとりの「その人らしさ」に寄り添いながら、ご自宅での生活と同じように毎日を過ごして頂くことが私たちの最大の願いであります。

地域の皆様との絆を太くし、地域の共生社会の実現に向けて出来る限りの努力を致しますので、これからもお力添えをくださいますようお願いいたします。

令和6年度 中期運営基本方針・活動目標の策定について ～キーワードは「不易流行」～

中期経営方針（令和6年度策定）

これまで積み上げてきた知識・経験を踏まえて、先進的な利用者ケアのシステムづくりに取り組む

令和6年度活動目標

1. 全職員が「やさしさ」と思いやりを運営の基本として、互いに尊厳を保持し、健康で職務に専心できる職場づくりに努める
2. ICT機器、介護ロボットの活用や新しい発想による業務の見直しを進め、安全の確保と業務の効率化の両立を目指す
3. 職種間・事業所間・他法人・地域との連携を深化し、利用者が真に必要なケアの包括的な提供に努める

来年度の中期経営方針の作成に当たり、最も重要なポイントは制度改正への対応です。今回の制度改正に関する議論の中では次の4つが主な論点として提示されました。

- ・ 地域包括ケアシステムの深化・推進
- ・ 自立支援・重度化防止に向けた対応
- ・ 良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくり
- ・ 制度の安定性・持続可能性の確保

これらの論点にどう対応するかを考えた時に、頭の中には「不易流行」という言葉が浮かびました。意味は「いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも、新しく変化を重ねているものを取り入れていくこと」ということです。

介護保険制度創設を追うように設立されたグリーンアルム福祉会は「住民の皆さんが健康で充実した、安らかな高齢期を過ごす」という理念を掲げ

ています。この理念は些かも変わるものではありませんが、それを実現するための方法や手段は変わっていくかなければなりません。制度改正や社会情勢の変化に合わせて、グリーンアルム福祉会も変革が必要となりますが、ご利用者様に向ける想いや職員同士の「やさしさ」と思いやりは変わることなく大切に次代に引き継いでいかなければなりません。

ではグリーンアルム福祉会はそのような変革を目指すのか、ですが、日本の社会情勢が大きく変わり、殊に生産年齢人口の減少は介護業界のみならず、日本社会全体の大きな課題となっています。この課題を克服するために「生産性の向上」という言葉が使われていますが、介護の質を落とすことなく（逆に上げながら）、より効率的な業務運営を考えていかないといけません。ICT（情報通信技術）機器や介護ロボットといったハード面での対応、記録システムの電子化やLIFEの活用といったソフト面での対応が一層必要になります。

また、現在の人的資源を無駄なく生かすために、今以上に事業所間の連携を強化する必要があるでしょう。場合によっては事業の統合や整理なども考えていく必要があるかもしれません。

活動目標では目指すべき方向性を提示しておりますが、最も大切なのは職員一人一人が「今何をなすべきか」を考えながら業務に当たることでしょう。利用者を中心に、業務全体と自身の業務を考えることで、具体的な業務改善の方策が見えてくると思います。

職員一人一人が、利用者やご家族のため、地域のために何ができるのかを常に考えて、グリーンアルムが皆様から頼りにされる存在であるよう、努力を重ねていきたいと思っています。

須坂荘改修工事

須坂荘の改修工事は、令和5年2月から着工し11カ月が過ぎました。工期を10期に区切り9期まで終了しています。完成は令和6年2月の予定です。
改修工事に併せて、小規模多機能型事業所「グリーンベリー」の整備も進めました。改修工事のビフォーアフターの一部を紹介します。

① ボイラー室から 小規模多機能型 事業所への改修



② 居室の改修



③ トイレの改修



防災訓練

令和5年10月20日



反省点

昼間想定での防災訓練でしたが、毛布を使用した緊急搬送では相当苦労されている様子でした。

指示が出た避難場所と実際の避難者が違う等の混乱もありましたが、全員の避難に要した時間は25分で、特に問題もなく、比較的スムーズに進行できました。ありがとうございました。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願いします。令和6年がスタートしましたが、元日には能登半島での大地震、その翌日には日航機と自衛隊機の追突事故。新年早々にお正月気分が一気に吹き飛ばす辛いニュースばかりで気分がとても落ち込みました。

昨年を思い返すと地球の温暖化を痛切に感じる一年となりました。猛暑ならぬ酷暑で本当に暑かったですね。今までで一番暑い夏だったようです。この冬も暖かく、雪が全くなく、大晦日は季節外れの大雨でした。大晦日とは思えずとても違和感がありました。

世界でも温暖化による極端な気温の上昇による熱波、強い台風や集中豪雨などの異常気象が発生しています。それに伴い、干ばつによる食糧危機、海面上昇による居住地の喪失などが引き起こされるのが予想されているようです。

ふと身近なところで温暖化に大きな影響を与えていると言われているのがゴミ問題。正月に出た大量のゴミを見て、自分にできることは何なのか考える新年になりました。

(青木)